

## 1-4-7. 奄美群島の普通種を中心とした植物相調査

鈴木 英治

### Study of flora in Amami Islands, especially common species.

SUZUKI Eizi

鹿児島大学国際島嶼教育研究センター

Research Center for the Pacific Islands, Kagoshima University

#### 要旨

奄美群島の植物相を明らかにするために、普通種を中心に植物相調査を行った。各島で標本又は写真で 2020~2021 年に新たに確認した品種まで含む分類群数は、奄美大島(21)、徳之島(82)、沖永良部島(11)、喜界島(35)、与論島(24)となった。各島の分類群数は、奄美大島(1597)、徳之島(1207)、沖永良部島(894)、喜界島(673)、与論島(548)となった。それらの資料を今までに集積されている資料と合わせ、奄美群島の植物 1838 分類群の分布図集を作成した。

#### はじめに

豊かな生物多様性を持つ地域として奄美群島は世界自然遺産に指定されたが、その根拠となる生物相の調査はまだ完全とは言えない。植物相も鈴木・宮本(2018)、や堀田(2013)が報告しているが、前者は文献調査を中心とし、後者は希少種を中心としており島ごとの植物分布は十分には明らかにしていない。種数を数える時には希少種 1 種も普通種 1 種も同じだが、普通種の資料が少ないために、島ごとの植物相や総種数に偏りが生じていると考えられる。そこで普通種を中心として、標本や写真を元にした植物相調査を進めた。また奄美群島ではないが種子島の調査が遅れているので、種子島の調査も行った。

#### 方法

現地に以下の日程で調査に行き、植物標本の採集と写真撮影を行った。2020/2/17-23(奄美大島・加計呂麻島)、2020/3/9-12(沖永良部島・与論島)、2020/8/4-7(奄美大島)、2020/9/11-18(奄美大島・徳之島)、2021/1/29-31(徳之島)、2021/2/20-26(奄美大島)、2021/7/3-7(奄美大島)、2021/8/14-19(奄美大島・徳之島)、2021/11/19-23(喜界島)、2021/12/9/11(種子島)。

#### 結果と考察

調査期間中に奄美群島と種子島で得た標本と写真の点数、分類群数を示す。なお写真は同じ植物の写真を複数枚撮ることが多いので、同日に同じ 3 次メッシュ (約 1 km 四方の範囲) 内で撮った同種の写真は 1 枚だけ使った。奄美大島は、加計呂麻島、与論島、請島を含む。徳之島で標本 53、写真 29 合計 82 分類群など、延べにすると 173 分類群を追加することができた。群島全体では、37 分類群を増やすことができ、1838 分類群となった。堀田 (2013) の奄美群島植物目録には 1735 分類群が掲載されていたが、それより百分類群以上増えた。

今までの記録がない新規分類群数と全分類群数の比率を見ると奄美大島の比率が最も小さ

くなった。標本や写真はランダムに取っているのではないことと、奄美大島は広いので島内分布を知るために重複して採集している影響もあるが、奄美大島は植物相調査が他の島より詳細に行われており、未収集分類群が少ないことを示しているように思える。

奄美群島全体で新規採集された標本 21 種中で自生種は 3 種（ヤンバルアリドオシ、オオバタネツケバナ、マルバアキグミ）しかなく、残りはオオアブラギリなどの外来種であった。

上記のように鈴木が採集・撮影した資料も含めて、奄美群島の標本情報 32,905 件と写真・文献情報 9,111 件から、奄美群島の植物 1,838 分類群の分布図集（鈴木ほか 2022b）と、全島の分布図集（鈴木ほか 2022a）を作成し、令和 4 年 2 月に出版する予定である。

表 1 鈴木が各島で採取撮影した点数と種数と、従来の研究による既知分類群数を合わせた合計分類群数 比：新規分類群数／分類群数

| 島    | 標本    |      |       |      | 写真   |      |       | 標本 + 写真 | 合計分類群数 |
|------|-------|------|-------|------|------|------|-------|---------|--------|
|      | 点数    | 分類群数 | 新規分類群 | 比    | 点数   | 分類群数 | 新規分類群 | 新規分類群   |        |
| 奄美大島 | 470   | 310  | 13    | 0.04 | 1237 | 364  | 6     | 19      | 1,678  |
| 徳之島  | 392   | 297  | 53    | 0.18 | 1688 | 369  | 29    | 82      | 1,134  |
| 沖永良部 | 37    | 37   | 5     | 0.14 | 101  | 89   | 6     | 11      | 903    |
| 喜界島  | 63    | 59   | 18    | 0.31 | 384  | 171  | 17    | 35      | 670    |
| 与論島  | 52    | 51   | 16    | 0.31 | 83   | 74   | 8     | 24      | 548    |
| 延べ合計 | 1,014 | 754  | 105   | 0.14 | 3493 | 1067 | 66    | 171     | 4,933  |
| 群島全体 | 1,014 | 541  | 21    | 0.04 | 3493 | 561  | 14    | 35      | 1,838  |
| 種子島  | 118   | 112  | 22    | 0.20 | 986  | 267  | 37    | 59      | 1,108  |

### 引用文献

堀田満 (2013) 奄美群島植物目録. 鹿児島大学総合研究博物館研究報告 6. 鹿児島大学総合研究博物館 279pp.

鈴木英治・宮本句子 (2018) 南西諸島における島嶼間の植物相比較. 鹿児島大学生物多様性研究会 (編) 奄美群島の野生植物と栽培植物:26-34. 南方新社 (鹿児島).

鈴木英治・丸野勝敏・田金秀一郎・寺田竜太・久保紘史郎・平城達哉・大西亘 (2022a) 鹿児島県の維管束植物分布図集-全県版. 鹿児島大学総合研究博物館研究報告 No.17. 鹿児島大学総合研究博物館 526pp.

鈴木英治・丸野勝敏・田金秀一郎・寺田竜太・久保紘史郎・平城達哉・大西亘 (2022b) 鹿児島県の維管束植物分布図集-奄美群島版. 鹿児島大学総合研究博物館研究報告 No.18. 鹿児島大学総合研究博物館 252pp.